

日本歯科医学会誌総目次

Vol. 11~Vol. 20 (1992~2001)

※白ヌキ数字は巻数を，数字は各巻の頁数を示す。

《特別企画》

| | | |
|--|----|-----|
| 歯髓の微小循環 (高橋和人) | 11 | 106 |
| 修復象牙質の形成 (下野正基) | 11 | 111 |
| 象牙芽細胞の分化 (井上 孝) | 11 | 114 |
| 歯髓および象牙質の外部刺激への対応 (石川達也) | 11 | 117 |
| 歯髓の炎症-細菌学の立場から (星野悦郎) | 11 | 119 |
| 歯髓の痛み-疼痛制御 (猪木令三) | 11 | 123 |
| 歯髓の痛み-病態口腔生理学の立場から (船越正也) | 11 | 126 |
| 歯周組織-その基礎・病態・臨床- (企画にあたって) | 12 | 107 |
| 歯周組織の構造と機能 (雨宮 璋) | 12 | 108 |
| 歯周病の病因-細菌学の立場から- (奥田克爾) | 12 | 113 |
| 歯槽骨の破壊-生化学の立場から- (坂本征三郎) | 12 | 118 |
| 歯周組織の防禦機構-免疫学の立場から- (茂呂 周) | 12 | 124 |
| 破壊された歯槽骨欠損部の処置 (山田 了) | 12 | 129 |
| 〈座談会〉有病者・高齢者歯科の今後の課題 -臨床と行政と教育と- | 12 | 135 |
| 顎関節 - その基礎・病態・臨床 - はじめに (内田安信) | 13 | 121 |
| 顎関節症の病態 - 機能系 - (森本俊文) | 13 | 123 |
| 顎関節症の病態 - 形態系 (内視鏡所見も含めて) - (杉崎正志) | 13 | 129 |
| 顎関節症の診断 - 症型分類と診断プ ロトコール - (柴田考典) | 13 | 134 |
| 顎関節症の診断 - 画像診断 - (岡野友宏) | 13 | 139 |
| 顎関節症の治療と予後 - 非観血的治療 - (藍 稔) | 13 | 145 |
| 顎関節症の治療と予後 - 観血的治療 - (大西正俊) | 13 | 151 |
| 21世紀の歯科疾患の動向をみる - 歯科疾患 実態調査から - はじめに (末高武彦) | 14 | 79 |
| う蝕の動向 (宮武光吉) | 14 | 80 |
| 歯周疾患の動向 (渡邊達夫) | 14 | 90 |
| 21世紀のう蝕治療を考える - 序に代えて (須田英明) | 15 | 96 |

| | | |
|---|----|-----|
| 再石灰化による初期う蝕の治療 (寺中敏夫) | 15 | 98 |
| 深在性う蝕の治療 - IPC テクニック - (井上 清) | 15 | 105 |
| レーザーによるう蝕治療 (熊崎 護) | 15 | 112 |
| BMP による硬組織の再生 - 歯科治療と 遺伝子工学 - (大井田新一郎) | 15 | 121 |
| 象牙質様硬組織の誘導 - BMP の応用 - (下野正基) | 15 | 128 |

《トレンド》

| | | |
|--|----|----|
| 「21世紀の歯周治療を考える」序に代えて (長谷川紘司) | 16 | 4 |
| 歯周病の分子生物学的診断 (村上伸也・岡田 宏) | 16 | 6 |
| 歯周病の遺伝子診断 (高柴正悟・村山洋二) | 16 | 14 |
| 歯周組織の細胞分化と再生への応用 (石川 烈・諸留よう子) | 16 | 19 |
| 歯周病の画像診断，画像転送，21世紀への展望 (湯浅賢治，神田重信) | 16 | 24 |
| 歯周炎患者への非外科的アプローチ (鴨井久一，仲谷 寛，浅木信安) | 16 | 29 |
| 歯周病患者の管理とかかりつけ歯科医 (渡邊達夫) | 16 | 36 |
| ターム - 用語解説 | 16 | 41 |
| 「歯の喪失に伴う変化」序に代えて (塚塚喜一) | 17 | 4 |
| 歯の喪失の現状と将来展望 (宮武光吉) | 17 | 6 |
| 抜歯の原因調査からみた歯の喪失 (根岸達郎，大谷 仁) | 17 | 14 |
| 歯の喪失の動態 (宮地建夫) | 17 | 18 |
| 乳歯の早期喪失に伴う空隙の変化 - 成長発育に与える影響 - (後藤讓治) | 17 | 21 |
| 歯の喪失に伴う顎骨の構造変化 (井出吉信，上松博子) | 17 | 27 |
| 口腔機能の生理的变化 (森本俊文，日高 修，増田裕次) | 17 | 34 |
| 歯の喪失をめぐる心理的影響 (山崎久美子) | 17 | 41 |
| ターム - 用語解説 | 17 | 47 |
| 「歯の喪失への対応」序に代えて (腰原 好) | 18 | 4 |
| 口腔内装着材料はこれからどうなるか (長谷川二郎) | 18 | 6 |
| 成長発育期の歯の喪失でなすべきこと | | |

(高木裕三, 三輪全三)13 13
機能回復の評価法(咀嚼, 嚥下, 発語)
(平井敏博, 石島 勉, 越野 寿)16 19
移植・再植, インプラントと生体反応(移植か人工臓器か)(赤川安正, 和田本昌良)18 25
生体組織への力学的配慮 — 下顎頭偏位の中耳伝音系および蝸牛神経への伝播 — (松本敏彦, 成田紀之, 大久保昌和)18 32
審美性の回復の評価
(中村隆志, 六人部慶彦, 丸山剛郎)18 38
メンテナンス(稲葉 繁)18 48
ターム — 用語解説18 48
「歯の喪失の予防 — 咬合の保全, 確保」
序に代えて(腰原 好)19 4
小児の咬合誘導と咬合の保全(中田 稔)19 6
動揺歯の対応が咬合崩壊を防止する
(横田 誠)19 13
不定愁訴・身体機能と咬合状態(石川達也)19 20
咬合面修復の立場から(田上順次)19 25
少数歯の残存と保全(河野正司, 岩片信吾)19 31
ターム — 用語解説19 38
「新世紀の歯科診断と歯科治療」
序に代えて(須田英明)20 4
歯科用小照射野 X 線 CT による画像診断
(篠田宏司, 新井嘉則, 本田和也, 江島堅一郎, 伊藤公一, 吉沼直人, 小森規雄, 小木曾文内, 秋山 裕)20 6
遺伝子診断・治療(安孫子宜光)20 18
接着(松村英雄, 熱田 充)20 25
手術用双眼実体顕微鏡の口腔治療での有用性
(中川寛一, 浅井康宏)20 32
レーザーと歯科治療(渡辺 久)20 38
ターム — 用語解説20 45

《テーマ研究》

在宅高齢者歯科診療時の事故予防対策に関する
指針(金子 讓)11 3
顎関節症診断プロトコルの検討ならびに試案
作製(岡 達)11 15
各種修復材料並びにペリクルへの口腔内レンサ
球菌の付着機構に関する研究(新谷英章)11 22
若年性歯周炎の免疫診断法に関する研究
(渡辺 久)11 28
臼歯部人工歯の選択基準(平沼謙二)11 34
片側性口唇口蓋裂患者の上顎歯列弓拡大に伴う
歯槽弓の三次元的変化様相(黒田敬之)11 41
歯周疾患罹患歯の露出セメント質の表面性状
について(上田雅俊)11 46
合成ペプチドを用いたう蝕予防剤の開発
(古賀敏比古)11 52
小児の咬合機能の発育変化に関する研究
(中田 稔)11 58

半導体レーザーの適正出力に関する基礎的並び
に臨床的研究(渡辺喜則)11 65
新しい地域健康指標開発の試み
— 3歳児歯科健康診査成績の活用 —
(片山 剛)11 70
コンピュータによる顎機能異常の診断支援
システム(石岡 靖)12 3
歯周ポケット内への局所薬物療法(鳴井久一)12 23
ポケット探針型超音波スケーラーの開発と臨床
応用 — ポケット探針型チップの使用法と根
分岐部用チップの開発 — (菅谷 勉)12 48
顎関節症診断プロトコルの提案(杉崎正志)12 53
我が国の寝たきり老人等に対する往診歯科治療
に関する実態調査(服部孝範)12 59
口腔健康教育方法論の開発と評価
(波多野浩道)12 66
小児の歯の外傷(野田 忠)13 5
バイオマテリアルと生体反応(長谷川二郎)13 23
顔貌の特徴に基づく先天異常診断ガイドライン
(黒田敬之)13 36
歯科インプラントの現状に関する調査研究
(榎本昭二)13 53
咬合面形状の定量化 — 咬合応力解析へのアプ
ローチ — (相馬邦道)13 76
歯科医療における DNA 診断 — 口腔腫瘍に
ついての自験例での検索を中心として —
(高木 実)13 82
顎関節症の診断と治療方針(佐々木武仁)14 5
歯科治療時における感染予防に関する総合的研究
(堀内 博)14 25
顎関節症IV型におけるスクリーニング法としての
回転パノラマ X 線撮影法の診断的価値とその
問題点(覚道健治)14 43
歯科保健医療分野における国際協力の確立に関
する総合的研究 — 発展途上国の問題解決に
有効な協力のあり方と方法論 — (村居正雄)14 48
骨形成因子の歯科臨床への応用(榎本昭二)15 5
光計測を用いた新しい検査システムの歯科臨床
への応用 — 血流測定を中心として —
(中村進治)15 18
チタン加工技術の信頼性と臨床における有用性
(谷 嘉明)15 28
歯科用局所麻酔薬に添加する血管収縮薬の至適
濃度の検討(雨宮義弘)15 40
スポーツマウスガードの規格化(安井利一)15 52
唇顎口蓋裂の初回治療より成人咬合完成までの
歯科医学による総合治療の研究(清水正嗣)15 58

《リサーチ》

歯科用異種特性複合材料の開発
(相馬邦道, 黒田勝也, 堀田邦孝, 飯田順一郎,
野田隆夫, 巨理文夫, 今井 徹, 浜中人士,

中林宣男, 西村文夫)16 46
 乳児期から高齢期に至る咀嚼機能の生理的変化
 — 咀嚼機能の発達と加齢変化 — (西野瑞穂,
 井出吉信, 高德幸男, 赤坂守人, 小口春久,
 小椋 正, 中田 稔, 野田 忠, 吉田定宏)16 61
 各種歯科疾患における痛みの多元的評価,
 痛みの表現用語の検討 (杉崎正志, 天笠光雄,
 木野孔司, 相良成実, 佐藤愛子, 椎名順朗,
 鈴木長明, 須田英明, 別府智司)16 71
 象牙質・歯髄複合体の病態生理に関する研究
 (下野正基, 井上 孝, 橋本貞充, 高橋和人,
 須田英明, 前田健康, 脇坂 聡)16 77
 歯科医師会, 行政, 附属病院間パソコン・
 ネットワークによる在宅患者訪問歯科診療
 支援システムの開発 (染矢源治, 鈴木一郎,
 田中 裕, 小林 豊, 雨宮義弘, 斎藤 憲,
 岸 洋志)17 51
 顎, 口腔, 顔面領域における無痛性, 持続性局
 所麻酔法の開発 (海野雅浩, 中村嘉男, 國分
 正廣, 見崎 徹, 鶴淵誠二)17 63
 有病者歯科患者の歯科治療リスクについての臨
 床的研究 (白川正順, 西田紘一, 古屋英毅,
 榎本昭二, 寶田 博, 伊東隆利, 吉澤信夫,
 植木輝一, 木村義孝)17 73
 高分解能電子顕微鏡による処理エナメル質の結
 晶学的同定 (高木興氏, 川崎浩二)17 83
 歯周病の歯槽骨崩壊予防のための骨芽細胞にお
 ける遺伝子転写因子ならびに細胞内情報伝達
 の相互制御機構の解明 (松本 章, 小林美智
 代, 出山義昭, 吉村善隆, 鈴木邦明, 中村進
 治, 池田克己, 大谷啓一)17 88
 チタンは本当に骨に結合するのか? (田中輝男,
 鮎川保則, 竹下文隆, 吉成正雄, 井上 孝,
 大塚芳郎, 末次恒夫, 下野正基)17 94
 骨粗鬆症に関する歯学からのアプローチ
 — 診断ならびに歯周疾患との関係 —
 (鹿島 勇, 田口 明, 野口俊英, 福田光男,
 稲垣幸司, 酒井 剛, 篠田 壽, 俣木志朗,
 黒崎紀正)18 53
 歯科臨床とアレルギー (中村正明, 藤井弘之,
 中村誠司, 奥野 攻, 高田雄京, 杉山芳樹,
 大島 浩)18 64
 咀嚼機能の客観的評価とそのデータベース構築
 (野首孝嗣, 五十嵐順正, 榎本昭二, 木村義
 孝, 河野正司, 小林義典, 平井敏博, 山口敏
 雄, 渡辺 誠, 原田 清, 山本 誠)18 75
 中枢性口腔機能障害の歯科医学的治療に関する
 臨床的研究
 — 摂食・嚥下障害の診断法を中心に —
 (道脇幸博, 横山美加, 道 健一)18 87
 歯科診療施設からの環境汚染に関する総合的研究
 (須山祐之, 村松 淳, 高久 悟, 野呂明夫,

大川由一, 高橋義一, 石井俊文, 高橋一祐) ...18 93
 高齢者の口腔ケアと口腔機能に関する総合研究
 (渡辺 誠, 道脇幸博, 河野正司, 松久保 隆,
 赤坂庸子, 道 健一, 岩片信吾, 眞木吉信,
 杉原直樹, 平井義人, 神部芳則, 葉真寺美
 佐子, 高橋禮子, 佐々木啓一)19 42
 歯科用小型X型CT (Ortho-CT) の臨床例
 1,000例の統計的分析 (新井嘉則, 橋本光二,
 江島堅一郎, 本田和也, 岩井一男, 篠田宏司) ...19 54
 感染症患者の診療に関する総合的研究 (須田英
 明, 砂川光宏, 堀内 博, 浅井康宏, 河野正
 司, 戸田忠夫, 井上 清, 久保吉廣, 吉田
 治志, 真坂信夫, 中久木一乗)19 64
 高齢者における口腔ケアと健康に関する基礎
 的研究 (市川哲雄, 寺田容子, 弘田克彦,
 三宅洋一郎, 細井和雄)19 75
 歯周炎と咬合性外傷との合併による歯周組織破
 壊のメカニズムの解明
 — とくにBruxismによる歯周組織の破壊
 について — (加藤 焜, 坂上竜資, 畢 良
 佳, 王 佳敏, 小西秀和, 堀井毅史, 井野秀
 一, 的場一成, 池田雅人, 谷口威夫)19 81
 歯科処置後に発症する細菌性心内膜炎の予防法
 (佐々木次郎, 金子明寛)20 49
 要介護高齢者に対する口腔衛生の誤嚥性肺炎予
 防効果に関する研究 (米山武義, 吉田光由,
 佐々木英忠, 橋本賢二, 三宅洋一郎, 向井美
 恵, 渡辺 誠, 赤川安正)20 58
 歯の意図的再植法の成功率向上と適応症の拡大
 に関する研究 (加藤 焜, 菅谷 勉, 川浪雅
 光, 大森幹朗, 野口裕史, 奥村健仁, 二宮
 昭, 木村喜芳, 山本俊樹)20 69
 表面麻酔薬の効果をあげる試み (深山治久,
 砂川光宏, 森 正次)20 80
 破骨細胞分化因子(Osteoclast Differentiation
 Factor: ODF) の生理的役割の解明 (宇田
 川信之, 高橋直之, 西原達次, 岡橋暢夫, 佐
 々木崇寿, 宮沢 康, 小竹 茂)20 86
 《講 苑》
 歯性感染症における薬物療法 — 起炎菌の動向
 と新しい抗菌剤について — (石橋克禮)11 78
 歯性感染症における薬物療法 — その周辺を含
 めて — (佐々木次郎)11 83
 歯内療法における薬物療法 — とくに歯髄・根
 管治療用薬剤の選択およびその効果に
 ついて — (斎藤 毅)11 87
 歯内療法における薬物療法 — 根管消毒薬の必
 要性とその現況 — (戸田忠夫)11 91
 歯周治療における薬物療法 — ドラック・デリ
 バリー・システムの応用 — (村井正大)11 95
 歯周治療における薬物療法 — 歯周ポケットの

抗生物質療法 — (村山洋二) 11 99

光重合型レジンへの対応; 物性と展望 — どの
ように選びどのように使うか —
(長谷川二郎) 12 74

光重合型レジンへの対応; 物性と展望 — 物性
に及ぼす光重合特性の影響を中心に —
(平澤 忠) 12 79

光重合型レジンへの対応; 保存治療の現状と問
題点 — 特に象牙質接着とコンポジットレジ
ンインレーについて — (勝山 茂) 12 85

光重合型レジンへの対応; 保存治療の現状と問
題点 — とくに直接窩洞充填用の光重合型レ
ジンについて — (小野瀬英雄) 12 92

光重合型レジンへの対応; 補綴治療の現状と問
題点 — 有床義歯補綴領域における対応 —
(長尾正憲) 12 97

光重合型レジンへの対応; 補綴治療の現状と問
題点 — 義歯とクラウン・ブリッジへの応用 —
(熱田 充) 12 102

全身からみた診査・診断 — 顎顔面領域の画像
診断を中心として — (川島 康) 13 90

全身からみた診査・診断
— 顎顔面領域の総合画像診断 — (石井保雄) 13 95

歯の保存からみた診査・診断
— 各種機器と技法の現状と将来 —
(岩久正明) 13 100

歯の保存からみた診査・診断 — 医用電子機器
の応用 — (岡本 莫) 13 106

下顎運動からみた診査・診断 — 下顎切歯限界
運動について — (古屋良一) 13 111

下顎運動からみた診査・診断 — 現状と将来
展望 — (坂東永一) 13 116

形態と機能からみた口腔粘膜 — 特に口腔粘膜
上皮細胞の機能的意義について —
(渡辺是久) 14 54

形態と機能からみた口腔粘膜 — 口腔粘膜の構
造とその病変 — (亀山洋一郎) 14 58

症状からみた口腔粘膜 — 口腔粘膜とウイルス
との関わり — (亀山忠光) 14 64

歯科材料の局所粘膜反応 — 歯科材料の安全性
を求めて — (中村正明) 14 69

歯科材料の局所粘膜反応 — 特に金属材料につ
いて — (井上昌幸) 14 74

唾液の性状と機能 — 唾液の分泌・生成の機序
からみた口腔乾燥症の成因および唾液スクリ
ーニングの現況について — (吉田 洋) 15 68

唾液の性状と機能 — 唾液学から摂食科学へ
の道 — (久保木芳徳) 15 74

唾液と歯科疾患 — 歯科疾患予防の観点から —
(中村 亮) 15 80

唾液と補綴臨床 — 義歯床の維持安定と唾液の
役割 — (芝 輝彦) 15 85

唾液と補綴臨床 — 唾液検査と義歯 —
(稲葉 繁) 15 90

《プロシーディングス》

摂食機能障害とは — 摂食機能を制御する神経
機構 — (山田好秋) 16 84

摂食機能障害とは — その定義と病態 —
(金子芳洋) 16 88

摂食機能障害の治療(1) 嚥下障害を中心として
— リハビリテーション的アプローチ —
(才藤米一) 16 92

摂食機能障害の治療(1) 嚥下障害を中心として
— 歯科医に何が期待されているか —
(本多知行) 16 96

摂食機能障害の治療(2) 咀嚼障害を中心として
— 咬合が極度に不正な症例 —
(小林義典) 16 100

摂食機能障害の治療(2) 咀嚼障害を中心として
— 主に咀嚼能率の評価について —
(小林喜平) 16 104

摂食機能障害の治療(3) 術後機能回復を中心と
して — デンタルインプラントを用いた機能
回復 — (上田 実) 16 108

摂食機能障害の治療(3) 術後機能回復を中心と
して — 口腔癌術後および顎骨外傷後の機能
障害とその治療 — (飯塚忠彦) 16 112

シンポジウム (道 健一, 鴨井久一) 16 116

基調講演「基礎的研究の流れ」(鴨井久一,
道 健一, 浅井康宏, 石橋克禮) 17 100

インプラント材料の特性 — 生体力学的適合
性 — (堤 定美) 17 106

インプラント材料の特性 — 生体適合性の向上
をめざして — (宮崎 隆) 17 110

インプラントの生体反応 — インプラント周囲
組織の構造 — (鈴木和夫) 17 114

インプラントの生体反応 — 創傷治癒の中の新
しい病態 — (井上 孝) 17 118

インプラントの周囲骨の再生 — 非機能下と機
能下における微細血管構築と骨形成 —
(諏訪文彦) 17 124

インプラントの周囲骨の再生 — 微細構造学的
にみた骨代謝 — (小澤英浩) 17 130

基調講演「う蝕への総合的対応策としての
カリオロジー」(岩久正明) 18 101

基調講演「接着性材料による生物学的う蝕治療」
(加藤喜郎) 18 104

う蝕原因菌の分子生物学 — ミュータンスレン
サ球菌のビルレンス因子の分子解析とその
抑制 — (浜田茂幸, 川端重忠, 藤原 卓,
大嶋 隆) 18 108

う蝕原因菌の分子生物学 — う蝕原性菌形成
の分子的基盤 — (福島和雄) 18 112

| | | | | | |
|--|----|-----|---|----|-----|
| 生体の抗う蝕要因 — う蝕と宿主, 細菌, 食事 要因の関係 — (花田信弘) | 18 | 116 | で可能か — — より良い再生療法をめざ して — (加藤 熙) | 19 | 116 |
| 生体の抗う蝕要因 — 再石灰化現象とう蝕病変 の可逆性 — (青葉孝昭) | 18 | 120 | 基調講演「新しい咬合治療の理念」咬合治療の 歴史背景と展望 (森谷良彦) | 20 | 93 |
| 最新の治療と将来展望 — 新しいう蝕の診査・ 診断および窩の処置と修復 — (千田 彰) | 18 | 124 | 基調講演「新しい咬合治療の理念」咬合治療の コンセンサス (田中久敏) | 20 | 96 |
| 最新の治療と将来展望 — う蝕治療における POS — (田上順次) | 18 | 128 | 健全な咬合とは — 咬合の生理はどこまで明ら かにされたか — — 咬合高径の決定に関 与する筋紡錘の役割 — (森本俊文) | 20 | 100 |
| 基調講演「歯周治療の現状と将来展望」 (鴨井久一, 沼部幸博) | 19 | 88 | 健全な咬合とは — 咬合の生理はどこまで明ら かにされたか — — 咀嚼システムの健全 な発達・老化は健康の源 — (前田憲彦) | 20 | 104 |
| 基調講演「これからの歯周治療の基軸は国民の 健康維持にどう貢献するか」 (長谷川絃司) | 19 | 91 | 咬合の異常とは — 診査・診断はどこまで可能 になったか — — 顎機能障害症例から学 ぶ — (河野正司) | 20 | 108 |
| 歯周病の原因 — 病原菌はどこまで明らかにさ れたか — — 健康を脅かす潜在的病原性 — (奥田克爾) | 19 | 94 | 咬合の異常とは — 診査・診断はどこまで可能 になったか — — 咬合異常に対してどの ように向かい合うべきか — (野首孝祠) | 20 | 114 |
| 歯周病の原因 — 病原菌はどこまで明らかにさ れたか — — 歯周病原細菌とその病原因 子について — (梅本俊夫) | 19 | 100 | 咬合治療の現状と将来展望 — 機能回復はどこ まで期待できるか — — 顎機能の健康と 患者の QOL 向上を目指した咬合治療 — (川添堯彬) | 20 | 118 |
| 歯周病と生体防御作用 — 発症と治療における 生体防御因子の関与 — — 歯周病罹患歯 肉にみられる細胞の機能 — (田中昭男) | 19 | 104 | 咬合治療の現状と将来展望 — 機能回復はどこ まで期待できるか — — 咬合修復材料と テクニック — (畑 好昭) | 20 | 122 |
| 歯周病と生体防御作用 — 発症と治療における 生体防御因子の関与 — — 歯周治療にお ける免疫療法の可能性 — (前田勝正) | 19 | 108 | | | |
| 歯周組織の再生 — 歯周治療への応用はどこま で可能か — — 歯周組織再生療法の現在と 将来への展望 — (石川 烈, 木下淳博) | 19 | 112 | | | |
| 歯周組織の再生 — 歯周治療への応用はどこま | | | | | |

《特別調査研究》

| | | |
|------------------------|----|-----|
| 咬合と全身の機能に関する調査研究 | 11 | 129 |
| 高齢者歯科に関連した文献調査研究 | 18 | 157 |

Contents Vol. 11~Vol. 20 (1992~2001)

《Feature》

| | | |
|---|----|-----|
| Microcirculation of Dental Pulp (Kazuto TAKAHASHI) | 11 | 106 |
| Formation of Reparative Dentin (Masaki SHIMONO) | 11 | 111 |
| Differentiation of the Odontoblast (Takashi INOUE) | 11 | 114 |
| Pulp and Dentin Response to Outside Stimuli (Tatsuya ISHIKAWA) | 11 | 117 |
| Bacteriological Aspects of Pulpitis (Etsuro HOSHINO) | 11 | 119 |
| Pain Sensation in Dental Pulp — Pain Control — (Reizo INOKI) | 11 | 123 |
| Pain in the Dental Pulp — from a view point of oral pathophysiology — (Masaya FUNAKOSHI) | 11 | 126 |
| Periodontal Tissues — Recent Advances in Fundamental and Clinical Status — (Introduction) | 12 | 107 |
| Structure and Function of the Periodontal Tissues (Akira AMEMIYA) | 12 | 108 |
| Etiology of Periodontal Diseases — Bacteriological Outlook — (Katsuji OKUDA) | 12 | 113 |
| Biochemical Aspects of Alveolar Bone Destruction (Seizaburo SAKAMOTO) | 12 | 118 |
| Immunological Aspects on Defense Mechanism of Periodontal Tissue (Itaru MORO) | 12 | 124 |
| The Treatment of Human Periodontal Osseous Defects (Satoru YAMADA) | 12 | 129 |

| | | |
|--|----|-----|
| Conversazione/Fututre Direction of Dentistry for Poor Risked Patients in the Aging Society — On Clinical Practice, Political Administration and Education — | 12 | 135 |
| Temporomandibular Joint — Recent Advances in Fundamental and Clinical Status — (Introduction) (Yasunobu UCHIDA) | 13 | 121 |
| Pathophysiology of Myofascial Pain Syndrome (Toshifumi MORIMOTO) | 13 | 123 |
| Pathological Conditions of Temporomandibular Disorders : Morphologic and Arthroscopic Findings (Masashi SUGISAKI) | 13 | 129 |
| Diagnosis on Temporomandibular Arthrosis : Diagnostic Classification and Protocol (Takanori SHIBATA) | 13 | 134 |
| Imaging of TMJ Disorders (Tomohiro OKANO) | 13 | 139 |
| Treatment of Temporomandibular Dysfunction — Non-Surgical Therapy — (Minoru AI) | 13 | 145 |
| Treatment of Temporomandibular Disorders — Surgical Therapy — (Masatoshi OHNISHI) | 13 | 151 |
| Prediction of Oral Health in Japan Comming the 21st Century — Based on the Report on the Survey of Dental Diseases — (Introduction) (Takehiko SUETAKA) | 14 | 79 |
| Prediction of Dental Caries (Kokichi MIYATAKE) | 14 | 80 |
| Prediction of Periodontal Disease (Tatsuo WATANABE) | 14 | 90 |
| Prospects of Dental Caries Treatment in the 21st Century — Introduction (Hideaki SUDA) | 15 | 96 |
| Clinical Implications of Remineralization in the Treatment of Early Carious Lesion (Toshio TERANAKA) | 15 | 98 |
| Treatment of Deep Carious Lesions — IPC Technique — (Kiyoshi INOUE) | 15 | 105 |
| Treatment of Dental Caries by Laser (Mamoru KUMAZAKI) | 15 | 112 |
| Regeneration of Hard Tissues by BMP — Dental Treatment and Genetic Engineering (Shinichiro OIDA) | 15 | 121 |
| Induction of Dentin Like Hard Tissues — Application with BMP — (Masaki SHIMONO) | 15 | 128 |

《Trend》

| | | |
|--|----|----|
| 「Prospects of Periodontal Treatment in the 21st Century」 Introduction (Kohji HASEGAWA) | 16 | 4 |
| Diagnosis of Periodontal Disease Based on the Techniques of Molecular Biology (Shinya MURAKAMI and Hiroshi OKADA) | 16 | 6 |
| Genetic Diagnosis of Periodontal Disease (Shogo TAKASHIBA and Yoji MURAYAMA) | 16 | 14 |
| Cell Differentiation Mechanisms of the Periodontal Tissue and Its Application to Regenerative Therapy (Isao ISHIKAWA and Yoko MOROTOME) | 16 | 19 |
| Diagnosis Imaging of Periodontitis and Image Data Transfer, The Outlook to 21th Century (Kenji YUASA and Shigenobu KANDA) | 16 | 24 |
| Non Surgical Approaches in the Periodontal Treatment (Kyuichi KAMOI, Hiroshi NAKAYA and Nobuyasu ASAKI) | 16 | 29 |
| Roles of Family Dentists and Control of Patients with Periodontal Disease (Tatsuo WATANABE) | 16 | 36 |
| Term | 16 | 41 |
| 「The Changing Phenomena Followed by the Tooth-loss」 Introduction (Yoshikazu IZUKA) | 17 | 4 |
| Prediction of the Tooth-loss (Kokichi MIYATAKE) | 17 | 6 |
| The Cause of the Tooth-loss — Through the Survey on the Cause of Tooth Extraction — (Tatsuro NEGISHI and Hitoshi ŌTANI) | 17 | 14 |
| Process of "Loss of Teeth" (Tateo MIYACHI) | 17 | 18 |
| Changes of Space Caused by Early Loss of Primary Teeth (George GOTO) | 17 | 21 |
| Structural Changes of the Jaw Bone with Loss of Teeth (Yoshinobu IDE and Hiroko AGEMATSU) | 17 | 27 |
| Physiological Changes in Oral Functions (Toshifumi MORIMOTO, Osamu HIDAHA and Yuji MASUDA) | 17 | 34 |
| Influence on Psychological Side by Tooth-loss (Kumiko YAMAZAKI) | 17 | 41 |
| Term | 17 | 47 |
| 「The Treatment for the Tooth-loss」 Introduction (Yoshimi KOSHIHARA) | 18 | 4 |
| Prospects of Restorative Dental Materials (Jiro HASEGAWA) | 18 | 6 |
| Management of Premature Tooth Loss in Growing Children (Yuzo TAKAGI and Zenzo MIWA) | 18 | 13 |
| Evaluating Methods for Stomatognathic Function after Prosthodontic Treatments | | |

| | | |
|---|----|----|
| (Toshihiro HIRAI, Tsutomu ISHIJIMA and Hisashi KOSHINO) | 18 | 19 |
| Biological Response to Transplantation, Replantation and Implants (Yasumasa AKAGAWA and Masayoshi WADAMOTO) | 18 | 25 |
| Increasing Interest in Otomandibular Symptoms — Relationship of Condylar Displacement to Middle Ear Transmission System and Cochlear Function — (Toshihiko MATSUMOTO, Noriyuki NARITA and Masakazu OKUBO) | 18 | 32 |
| Clinical Evaluation of Esthetic Missing-Tooth Restorations (Takashi NAKAMURA, Yoshihiko MUTOBE and Takao MARUYAMA) | 18 | 38 |
| Maintenance (Shigeru INABA) | 18 | 43 |
| Term | 18 | 48 |
| 「The Prevention of Missing Teeth」 Introduction (Yoshimi KOSHIIHARA) | 19 | 4 |
| To Guide the Normal Development of Occlusion in Children (Minoru NAKATA) | 19 | 6 |
| Prevention of the Occlusal Collaps by Treatment to Mobile Teeth (Makoto YOKOTA) | 19 | 13 |
| Indefinite Complaint or Physical Condition Related to the Occlusion (Tatsuya ISHIKAWA) | 19 | 20 |
| Occlusal Restoration (Junji TAGAMI) | 19 | 25 |
| Preservation of Defected Dentition and Prosthodontic Treatment (Shoji KOHNO and Shingo IWAKATA) | 19 | 31 |
| Term | 19 | 38 |
| 「Diagnosis and Treatment in Dentistry for the New Century」 Introduction (Hideaki SUDA) | 20 | 4 |
| Diagnostic Imaging by Limited Cone Beam CT (Koji SHINODA, Yoshinori ARAI, Kazuya HONDA, Kenichirou EJIMA, Koichi ITO, Naoto YOSHINUMA, Norio KOMORI, Bunnai OGISO and Yutaka AKIYAMA) | 20 | 6 |
| Genetic Diagnosis and Gene Therapy (Yoshimitsu ABIKO) | 20 | 18 |
| Adhesive Bonding (Hideo MATSUMURA and Mitsuru ATSUTA) | 20 | 25 |
| Usefulness of Operative Microscope for Endodontics (Kan-Ichi NAKAGAWA and Yasuhiro ASAI) | 20 | 32 |
| Laser Application for Dental Treatment (Hisashi WATANABE) | 20 | 38 |
| Term | 20 | 45 |

《Research on the Theme》

| | | |
|--|----|----|
| The Guideline for Preventive Measures against Medical Emergency in Dental Treatment of the Home-bound Elderly Patients (Yuzuru KANEKO) | 11 | 3 |
| Nationwide Questionnaire Research on Examination Form and Proposal for Standard Examination Form of the Temporomandibular Disorders (Tohru OKA) | 11 | 15 |
| Studies of the Mechanisms of Streptococcal Adherence to Uncoated and Saliva-coated Restoratives and Salivary Proteins (Hideaki SHINTANI) | 11 | 22 |
| Studies on Immunological Diagnosis of Juvenile Periodontitis (Hisashi WATANABE) | 11 | 28 |
| Selection Criteria for the Artificial Posterior Teeth (Kenji HIRANUMA) | 11 | 34 |
| Three Dimensional Changes of the Maxillary Alveolar Arch Following Dental Arch Expansion in Unilateral Cleft Lip and Palate Patients (Takayuki KURODA) | 11 | 41 |
| Some Investigation on the Surface Properties of Human Exposed Cementum (Masatoshi UEDA) | 11 | 46 |
| Application of Synthetic Peptides as Preventives against Dental Caries (Toshihiko KOGA) | 11 | 52 |
| Development of Occlusal Function in Growing Children (Minoru NAKATA) | 11 | 58 |
| Basic and Clinical Studies on Appropriate Power for the Ga-Al-As Laser (Yoshinori WATANABE) | 11 | 65 |
| A Consideration for Developing New Community Health Indicator — An Utilization of Annual Statistics of Dental Health Checkup for 3-year-olds — (Tsuyoshi KATAYAMA) | 11 | 70 |
| Supporting System for Diagnosis of Craniomandibular Disorders using Computer (Kiyoshi ISHIOKA) | 12 | 3 |
| Local Drug Therapy for the Periodontal Pocket (Kyuichi KAMOI) | 12 | 23 |
| Development and Clinical Application of the Pocket Probe Type Tip for Ultrasonic Scaler — Technique for Applying the Pocket Probe Type Tip and Development of the Furcation Tip — (Tsutomu SUGAYA) | 12 | 48 |
| Recommendation of a Standard Examination Form of the Temporomandibular Disorders and Diagnostic Guidelines for the Classification (Masashi SUGISAKI) | 12 | 53 |
| Survey for Dental Home Call to Home-stay Elders in Japan (Takanori HATTORI) | 12 | 59 |

| | | |
|---|----|----|
| Development and Evaluation of the Methodology for Oral Health Education (Hiromichi HATANO) | 12 | 66 |
| Traumatic Dental Injuries in Children (Tadashi NODA) | 13 | 5 |
| Biomaterials and their Biological Response (Jiro HASEGAWA) | 13 | 23 |
| Guideline for Diagnosis of Congenital Malformations Based on Facial Characteristics (Takayuki KURODA) | 13 | 36 |
| Investigation of the Present Status of Dental Implant in Japan (Shoji ENOMOTO) | 13 | 53 |
| Measurement of the Occlusal Surface Morphology — Approach to Analysis of Occlusal Stress — (Kunimichi SOMA) | 13 | 76 |
| DNA Diagnosis of Oral Diseases — Special Reference to Oral Tumors — (Minoru TAKAGI) | 13 | 82 |
| Diagnosis and Treatment of Temporomandibular Disorders for General Dental Practitioners (Takehito SASAKI) | 14 | 5 |
| Prevention against the Cross-contamination in the Dental Operating Room (Hiroshi HORIUCHI) | 14 | 25 |
| The Significance and Problems of the Rotational Panoramic Radiography as Routine Screening Tests for Osteoarthritis of the Temporomandibular Joint (Kenji KAKUDO) | 14 | 43 |
| Methodology and Strategies of Effective Assistance by Japanese Dental Professionals to Improve Health Status in Developing Countries (Masao MURAI) | 14 | 48 |
| Application of Bone Morphogenetic Protein in the Field of Clinical Dentistry (Shoji ENOMOTO) | 15 | 5 |
| Optical Measurements as a New Diagnostic Tool in Dentistry — Analyzing Systems to Measure Tissue Blood Flow — (Shinji NAKAMURA) | 15 | 18 |
| Reliability and Clinical Usefulness of Titanium Processing Techniques (Yoshiaki TANI) | 15 | 28 |
| Study on a Suitable Concentration of Vasoconstrictor to Be Added to Local Anesthetics for Dentistry (Yoshihiro AMEMIYA) | 15 | 40 |
| A Study on the Standardization of Sports Mouthguards (Toshikazu YASUI) | 15 | 52 |
| Studies on Consistent General Treatments for Cleft Lip, Alveolous and Palate by Dental Medicine from the Primary Procedure till the Completion of Adult Occlusion (Masatsugu SHIMIZU) | 15 | 58 |

《Research》

| | | |
|---|----|----|
| Development of New Dental Materials by Combining Substances with Varying Properties (Kunimichi SOMA, Katsuya KURODA, Kunitaka HOTTA, Junichiro IIDA, Takao NODA, Fumio WATARI, Toru IMAI, Hitoshi HAMANAKA, Nobuo NAKABAYASHI and Fumio NISHIMURA) | 16 | 46 |
| Physiological Changes of Masticatory Function — from Infant to the Aged — (Mizuho NISHINO, Yoshinobu IDE, Yukio TAKATOKU, Morito AKASAKA, Haruhisa OGUCHI, Tadashi OGURA, Minoru NAKATA, Tadashi NODA and Sadahiro YOSHIDA) | 16 | 61 |
| Multidimensional Evaluation of Pain in Various Dental Diseases and Examination of Expression Terms of Pain (Masashi SUGISAKI, Teruo AMAGASA, Kouji KINO, Narumi SAGARA, Aiko SATO, Nobuaki SHIINA, Nagaaki SUZUKI, Hideaki SUDA and Satoshi BEPPU) | 16 | 71 |
| Pathophysiologic Studies on Dentin/Pulp Complex (Masaki SHIMONO, Takashi INOUE, Sadamitsu HASHIMOTO, Kazuto TAKAHASHI, Hideaki SUDA, Takeyasu MAEDA and Satoshi WAKISAKA) | 16 | 77 |
| Development of a Supporting System of the Visiting Dental Care for the Bedridden Elderly Person Using a Personal Computer Network among Regional Dental Society, Municipal Office and University Dental Hospital (Genji SOMIYA, Ichiro SUZUKI, Yutaka TANAKA, Yutaka KOBAYASHI, Yoshihiro AMEMIYA, Ken SAITOH and Hiroshi KISHI) | 17 | 51 |
| Development of Non-Invasive and Continuous Local Anesthesia in Oral and Maxillofacial Region (Masahiro UMINO, Yoshio NAKAMURA, Masahiro KOKUBU, Toru MISAKI and Seiji TSURUBUCHI) | 17 | 63 |
| A Clinical Study of the Risks of Dental Treatment for the Medically Compromized Patients (Masayori SHIRAKAWA, Koichi NISHIDA, Hideki FURUYA, Syoji ENOMOTO, Hiroshi TAKARADA, Takatoshi ITO, Nobuo YOSHIZAWA, Kiichi UEKI and Yoshitaka KIMURA) | 17 | 73 |
| Crystallographic Identification of Treated Enamel with High Resolution Electron Microscope (Okuiji TAKAGI and Koji KAWASAKI) | 17 | 83 |

| | | |
|--|----|----|
| Study on the Interaction between Gene Transcriptional Factors and Intercellular Signal Transduction in Osteoblast for the Prevention of Alveolar bone Collapse in Periodontal Disease (Akira MATSUMOTO, Michiyo KOBAYASHI, Yoshiaki DEYAMA, Yoshitaka YOSHIMURA, Kuniaki SUZUKI, Shinji NAKAMURA, Katsumi IKEDA and Keiichi OHYA) | 17 | 88 |
| Does Titanium Really Make Direct Contact with the Bone ? (Teruo TANAKA, Yasunori AYUKAWA, Fumitaka TAKESHITA, Masao YOSHINARI, Takashi INOUE, Yoshiro OHTSUKA, Tsuneo SUETSUGU and Masaki SHIMONO) | 17 | 94 |
| The Study of Osteoporosis in Dentistry — Diagnosis and Correlation to Periodontal Disease — (Isamu KASHIMA, Akira TAGUCHI, Toshihide NOGUCHI, Mitsuo FUKUDA, Koji INAGAKI, Tsuyoshi SAKAI, Hisashi SHINODA, Shiro MATAKI and Norimasa KUROSAKI) | 18 | 53 |
| Allergic Contact Dermatitis in Dental Clinic (Masaaki NAKAMURA, Hiroyuki FUJII, Seiji NAKAMURA, Osamu OKUNO, Yukyo TAKADA, Yoshiki SUGIYAMA and Hiroshi OSHIMA) | 18 | 64 |
| Objective Evaluation and Constituting Database of Masticatory Function (Takashi NOKUBI, Yoshimasa IGARASHI, Shoji ENOMOTO, Yoshitaka KIMURA, Shoji KOHNO, Yoshinori KOBAYASHI, Toshihiro HIRAI, Toshio YAMAGUCHI, Makoto WATANABE, Kiyoshi HARADA and Makoto YAMAMOTO) | 18 | 75 |
| Dental Management for Oral Dysfunctions in Stroke Patients — Focusing on Swallowing Disorders — (Yukihiro MICHIWAKI, Mika YOKOYAMA and Ken-ichi MICHII) | 18 | 87 |
| Studies on Environmental Pollution in Dentistry (Yuji SUYAMA, Jun MURAMATSU, Satoru TAKAKU, Akio NORO, Yoshikazu OKAWA, Yoshikazu TAKAHASHI, Toshibumi ISHII and Kazuyu TAKAHASHI) | 18 | 93 |
| Study of Oral Health Care and Stomatognathic Function in the Elderly (Makoto WATANABE, Yukihiro MICHIWAKI, Shoji KOHNO, Takashi MATSUKUBO, Yoko AKASAKA, Ken-ichi MICHII, Shingo IWAKATA, Yoshinobu MAKI, Naoki SUGIHARA, Yoshito HIRAI, Yoshinori JINBU, Misako YAKUSHINJI, Reiko TAKAHASHI and Keiichi SASAKI) | 19 | 42 |
| Statistical Analysis of 1,000 Clinical Cases Diagnosed by Limited Area Cone Beam CT (Ortho-CT) (Yoshinori ARAI, Koji HASHIMOTO, Ken-ichiro EJIMA, Kazuya HONDA, Kazuo IWAI and Koji SHINODA) | 19 | 54 |
| A Study of the Dental Treatment for Patients With Infectious Diseases (Hideaki SUDA, Mitsuhiro SUNAKAWA, Hiroshi HORIUCHI, Yasuhiro ASAI, Shoji KOHNO, Tadao TODA, Kiyoshi INOUE, Yoshihiro KUBO, Harushi YOSHIDA, Nobuo MASAKA and Kazunori NAKAKUKI) | 19 | 64 |
| Study on Oral Health Care and General Health of Elderly (Tetsuo ICHIKAWA, Yoko TERADA, Katsuhiko HIROTA, Yoichiro MIYAKE and Kazuo HOSOI) | 19 | 75 |
| Elucidation of Periodontal Destruction by Periodontitis in Combination with Occlusal Traumatism and Bruxism (Hiroshi KATO, Ryuji SAKAGAMI, Liangjia Bi, JiaMin WANG, Hidekazu KONISHI, Takeshi HORII, Shuichi INO, Kazunari MATOBA, Masato IKEDA and Takeo TANIGUCHI) | 19 | 81 |
| Prevention of Endocarditis Caused by Transient Bacteremia after Tooth Extraction (Jiro SASAKI and Akihiro KANEKO) | 20 | 49 |
| A Study for the Effects of Oral Health Care on the Prevention of Aspiration Pneumonia in the Compromised Elderly Patients (Takeyoshi YONEYAMA, Mitsuyoshi YOSHIDA, Hidetada SASAKI, Kenji HASHIMOTO, Yoichiro MIYAKE, Yoshiharu MUKAI, Makoto WATANABE and Yasumasa AKAGAWA) | 20 | 58 |
| Improvement in Success Rate and Extension of Indication of Intentional Replantation Method (Hiroshi KATO, Tsutomu SUGAYA, Masamitsu KAWANAMI, Mikio OHMORI, Hiroshi NOGUCHI, Takehito OKUMURA, Akira NINOMIYA, Kiyoshi KIMURA and Toshiki YAMAMOTO) | 20 | 69 |
| Researches of Enhancement of Topical Anesthesia in Dentistry (Haruhisa FUKAYAMA, Mitsuhiro SUNAKAWA and Masaji MORI) | 20 | 80 |
| Physiological Role of Osteoclast Differentiation Factor | | |

| | | |
|---|----|-----|
| (Nobuyuki UDAGAWA, Naoyuki TAKAHASHI, Tatsuji NISHIHARA, Nobuo OKAHASHI, Takahisa SASAKI, Yasushi MIYAZAWA and Shigeru KOTAKE) | 20 | 86 |
| 《Lectures》 | | |
| Chemotherapy of the Oral and Maxillofacial Infections — Causative Microorganisms and Newly Developed Antimicrobial Agents — (Katsunori ISHIBASHI) | 11 | 78 |
| Bacterial Infections in Dentistry and Oral Surgery — Antimicrobial Agents Therapy and Surrounding Matters — (Jiro SASAKI) | 11 | 83 |
| Current Trend of Endodontic Drug Therapy — The Drugs of Choice on Vital Tooth and Infected Root Canal — (Tsuyoshi SAITO) | 11 | 87 |
| Application of Agents to Endodontic Treatment — Dressing or no Dressing in Canal — (Tadao TODA) | 11 | 91 |
| Therapeutics and Pharmacology of Periodontal Disease — Application of Drug Delivery System — (Seidai MURAI) | 11 | 95 |
| Antibiotic Therapy in Periodontics — The Concept of Crevicular Antibiotic Therapy for Treatment of Periodontal Disease — (Yoji MURAYAMA) | 11 | 99 |
| The Properties and Outlook of the Visible Light Cured Resin — How to Select and Use — (Jiro HASEGAWA) | 12 | 74 |
| The Properties and Outlook of the Visible Light Cured Resin — Influence of Photopolymerization Characteristics to the Properties of Resins — (Tadashi HIRASAWA) | 12 | 79 |
| Status and Problems of Light Cured Composite Resin in Operative Dentistry — Adhesion to Dentin and Composite Resin Inlay — (Shigeru KATSUYAMA) | 12 | 85 |
| The Existing State and the Clinical Disadvantages of Light Cured Resin in the Field of Operative Dentistry — On the Light Cured Resin for Direct Filling to the Prepared Cavity — (Hideo ONOSE) | 12 | 92 |
| Light Curing System in Prosthetic Treatment — Application of Light Curing Materials to Removable Dentures — (Masanori NAGAO) | 12 | 97 |
| How to Use Light-Curing Resin ; Statue and Problems in Prosthodontic Treatment — An Application to Denture and Crown-Bridge Works — (Mitsuru ATSUTA) | 12 | 102 |
| Physical Examination and Medical Diagnosis — Imaging Diagnosis of Maxillo-Facial Region — (Yasushi KAWASHIMA) | 13 | 90 |
| Physical Examination and Medical Diagnosis — Integrated Diagnostic Imaging of Oral and Maxillofacial Regions — (Yasuo ISHII) | 13 | 95 |
| Examination and Diagnosis on Conservative Dentistry — Present and Future of Various Equipments and Techniques — (Masaaki IWAKU) | 13 | 100 |
| A Progress of the Examination/Diagnosis in Endodontics and Periodontics — Applications of the Medical Electronics — (Hiroshi OKAMOTO) | 13 | 106 |
| Application of Mandibular Movements for Examinations and Diagnosis in Stomatognathic Function — Border Movement at Mandibular Incisal Point — (Ryoichi FURUYA) | 13 | 111 |
| Examination and Diagnosis from the Viewpoint of Jaw Movement — Current Status and Prospects — (Eiichi BANDO) | 13 | 116 |
| Morphological and Functional Aspect of Oral Mucosa — Special Reference to Functional Role of Oral Mucosal Epithelium — (Yoshihisa WATANABE) | 14 | 54 |
| — Structure and Diseases of Oral Mucosa — (Yoichiro KAMEYAMA) | 14 | 58 |
| Symptomatic Aspect of Oral Mucosa — Relationship of Virus and Oral Mucosa — (Tadamitsu KAMEYAMA) | 14 | 64 |
| Effects of the Dental Materials on the Oral Mucosa — Information on Adverse Reaction to Dental Materials — (Masaaki NAKAMURA) | 14 | 69 |
| — Especially of the Dental Metals — (Masayuki INOUE) | 14 | 74 |
| Property and Function of Saliva — Cause Xerostomia with Reference to the Secretary Mechanisms and Present State of the Salivary Screening — (Yo YOSHIDA) | 15 | 68 |

| | | |
|---|----|----|
| — Science of Saliva will Teach us How We should Take Food — (Yoshinori KUBOKI) | 15 | 74 |
| Saliva and Oral Disease — Roles in the Prevention of Dental Diseases — (Ryo NAKAMURA) | 15 | 80 |
| Saliva and Prosthodontics in Dentistry — Role of Saliva in Relation to Denture Retention — (Akihiko SHIBA) | 15 | 85 |
| — Saliva Testing and Denture — (Shigeru INABA) | 15 | 90 |

《Proceedings》

| | | |
|---|----|-----|
| Consideration as to Dysphagia in Dentistry — Neural Control Mechanism for Ingestion — (Yoshiaki YAMADA) | 16 | 84 |
| Disorders of Eating Function — Definition and Pathophysiology — (Yoshihiro KANEKO) | 16 | 88 |
| Rehabilitational Approach for Patients with Ingestional Problems (Eiichi SAITOH) | 16 | 92 |
| Treatment of Swallowing Disturbance (1) Centering around Dysphagia — What Is a Viewpoint Which Dentists Should Have on Dysphagia? — (Tomoyuki HONDA) | 16 | 96 |
| Treating Disorders of Eating Function (2) Mostly about Disorders of Mastication — Cases of Occlusion That Are Extremely Unstable — (Yoshinori KOBAYASHI) | 16 | 100 |
| Therapy for Disability of Ingestion (2) About Disability of Mastication — Evaluation of Masticatory Performance and Efficiency — (Kihei KOBAYASHI) | 16 | 104 |
| Treatment of Masticatory Dysfunction (3) Functional Recovery After Surgery — Functional Recovery by Dental Implants — (Minoru UEDA) | 16 | 108 |
| Treatment for Eating Disorder (3) with Special Reference to Functional Rehabilitation Following Surgery — Oral Rehabilitation after Cancer Surgery and Jaw Injury — (Tadahiko IZUKA) | 16 | 112 |
| Symposium (Ken-ichi MICHl and Kyuichi KAMOI) | 16 | 116 |
| Present Status of Oral Implantology — On the Point of Basic Researches in Periodontal Tissues — (Kyuichi KAMOI, Ken-ichi MICHl, Yasuhiro ASAl and Katsunori ISHIBASHI) | 17 | 100 |
| Biomechanical Compatibility of Oral Implants (Sadami TSUTSUMI) | 17 | 106 |
| Characteristics of Implant Materials — Improvement of Biocompatibility — (Takashi MIYAZAKI) | 17 | 110 |
| Biological Response to the Implant — The Structure of Tissue Surrounding Implants — (Kazuo SUZUKI) | 17 | 114 |
| Dental Implant-Tissue Response in Situ — New Pathways in Wound Healing — (Takashi INOUE) | 17 | 118 |
| Bone Healing around Dental Implant — Microvascularization and Bone Formation in Functional or Non Functional Conditions — (Fumihiko SUWA) | 17 | 124 |
| Bone Healing Around Dental Implant — Fine Structural Aspects on Bone Metabolism — (Hidehiro OZAWA) | 17 | 130 |
| Cariology as Total Counter-measure for Dental Caries (Masaaki IWAKU) | 18 | 101 |
| Biological Caries Therapy with Adhesive Resins (Yoshiroh KATOH) | 18 | 104 |
| Molecular Biology of Cariogenic Bacteria — Molecular Analysis of Virulence Traits of Mutans Streptococci and Suppression of Their Pathogenic Activities — (Shigeyuki HAMADA, Shigetada KAWABATA, Taku FUJIWARA and Takashi OOSHIMA) | 18 | 108 |
| Molecular Biology of Cariogenic Bacteria — Molecular Basis of Cariogenic Plaque Formation — (Kazuo FUKUSHIMA) | 18 | 112 |
| Host-Defence Mechanisms against Dental Caries — Association between Caries Prevalence and Host, Bacteriological and Dietary Variables — (Nobuhiro HANADA) | 18 | 116 |
| Host-Defence Mechanisms against Dental Caries — Remineralization and Caries-Reversibility — (Takaaki AOBA) | 18 | 120 |
| New Concept of Caries Treatment — The Latest Diagnosis, Treatment and Restoration of Dental Caries — (Akira SENDA) | 18 | 124 |
| New Concept of Caries Treatment — Patient Oriented System in Caries Treatment — (Junji TAGAMI) | 18 | 128 |
| Present Status and Future Implication on the Periodontal Therapy (Kyuichi KAMOI and Yukihiro NUMABE) | 19 | 88 |
| The Key Roles of Periodontal Treatment Contributing to the General Health (Koji HASEGAWA) | 19 | 91 |

| | | |
|---|----|-----|
| Etiology of Periodontal Disease — Current Studies on the Periodontopathogens — — Pathogenic Potential to Health Disturbance — (Katsuji OKUDA) | 19 | 94 |
| Etiology of Periodontal Disease — Current Studies on the Periodontopathic Bacteria — Periodontopathic Bacteria and Their Virulent Factors — (Toshio UMEMOTO) | 19 | 100 |
| Host Defense in Periodontal Disease — The Role of Host-Defense Factors in the Progression and Treatment of Disease — — Cell Function in the Gingiva during Periodontal Disease — (Akio TANAKA) | 19 | 104 |
| Host-Defence in Periodontal Disease — A Role of Host-Defence Factors in the Disease Progression and The Treatments — — The Possible Immunologic Therapy for Periodontal Diseases — (Katsumasa MAEDA) | 19 | 108 |
| Regeneration of Periodontal Tissue — The Area of It's Application for Periodontal Treatment — Current Therapies and Perspectives of Periodontal Regeneration — (Isao ISHIKAWA and Atsuhiko KINOSHITA) | 19 | 112 |
| Regeneration of Periodontal Tissue — The Area of It's Application for Periodontal Treatment — Improvement of Regenerative Therapy — (Hiroshi KATO) | 19 | 116 |
| New Concept of Occlusal Treatment — Historical Background and Survey for Occlusal Treatment — (Yoshihiko MORIYA) | 20 | 93 |
| New Concept of Occlusal Treatment — Consensus on the Goals of Occlusal Treatment — (Hisatoshi TANAKA) | 20 | 96 |
| Physiological Background of Occlusion — Recent Concept — — Contribution of Muscle Spindles to Determination of Occlusal Vertical Dimension — (Toshifumi MORIMOTO) | 20 | 100 |
| Physiological Background of Occlusion — Recent Concept — — Healthy Development and Aging of Masticatory System Keep our Health — (Norihiko MAEDA) ... | 20 | 104 |
| Recent Diagnostic Methods of Anomaly of Occlusion — Diagnostic Investigation of Occlusal Interferences in the Cases of Stomatognathic Dysfunction (Shoji KOHNO) | 20 | 108 |
| Recent Diagnostic Methods of Anomaly of Occlusion — How to Take Countermeasures against Anomaly of Occlusion? (Takashi NOKUBI) | 20 | 114 |
| Current Status and Future Direction of Occlusal Treatment and Rehabilitation — How many Positive Outcomes can we achieve in the Functional Advances — — Occlusal Treatment for Healthy Jaw Function and Patient QOL — (Takayoshi KAWAZOE) | 20 | 118 |
| The Status Quo and Prospects for the Future in Occlusal Treatment — How Far Are We from Reaching the Highest Level of Functional Rehabilitation — — Materials and Techniques for Occlusal Rehabilitation — (Yoshiaki HATA) | 20 | 122 |
| 《Investigative Study》 | | |
| Occlusion and Total Health | 11 | 129 |
| Examination of Literature on Gerodontology | 13 | 157 |